

- ♣ 扉 ベトナムの民族楽器⑦ 青木有理 1
- ♥ まなぶということ 鈴井孝雄 2
- ♠ 今月の統計資料 4
- ◆ 詩 国際法 べにはこべ 8



特集 戦後80年—

核兵器に依存しない世界へ

核兵器廃絶にむけて 核軍縮・不拡散の現状と課題 …… 湯浅一郎 10

核兵器を考える …… 高橋和夫 16

イスラエル、イラン、パキスタン、そして日本 …… 25

コラム 日本における平和利用の始まり …… 26

継承すべきはなにか …… 遊川和良 26

日本のうしろ 世界のうしろ

「少数与党」の国会審議 夫婦別姓、皇位継承、拘禁刑 …… 斉藤小百合

「分断」の韓国で新大統領が誕生 …… 韓 興鉄 29

世界の流れに逆行する日本 脱原発の課題 …… 海渡雄一

職場の法律相談 配転命令の裁量権 …… 木下徹郎 41

国家と教育 28 学校の教育活動と教育裁判 …… 小泉広子 55

誌上学習会『共産党宣言』8 社会主義的および共産主義的文獻① …… 59

- ◆ キャラバンサライ
- ◆ スポーツ時評
- ◆ メルボルン便り
- ◆ 経済を知ろう！

- ◆ 中国観看
- ◆ 働く現場から
- ◆ 情報BOX
- ◆ 北から南から

- ◆ センターとみなさんをつなぐ
- ◆ カットII 野崎安希子

まなぶということ

権利を実現する力は、団結力

鈴井 孝雄

今年は、戦後80年。1945年3月東京大空襲で死者10万5千人、4月沖縄戦で日本軍と県民18万人、8月に広島で14万人、長崎で7万人が死亡しました。これだけで終わらせません。戦争が終わったとされる8月15日から悲惨なシベリア抑留が行われ、57万人が抑留され5万7千人が亡くなったといわれています。捕虜を強制労働に役役することは国際法違反ですが、そもそも満州に兵士と国民を送り込んだ責任が問われます。

「悲惨な戦争」ということばを聞いた時、私たちはこれらの殺された日本人310万人、アジア諸国2千万人の人々のことを思い出す必要があります。

そうした中で日本国憲法が生まれました。「もう戦争はこりごりだ」という精神が憲法改悪を阻止してきたと思います。しかし、残念ながら日本国民が「闘い取った」という意識はありませんでした。日本国憲法は世界でも稀な突き抜けた

平和主義の下、権利を保障しています。にもかかわらず、いまや憲法は無きに等しい無権利状態に労働者は置かれています。それは憲法に基づく権利を主張していないからと言えます。憲法97条には、「この憲法が日本国民に保障する基本的人権は人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であって、これらの権利は、過去幾多の試練に堪へ、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである」としています。「将来の国民に」保障するには現在の私たちが改悪を阻止する闘いを展開しなくてはなりません。その力は、どこにあるのでしょうか？

働く一人ひとりには弱い存在です。しかし、まぎれもなく社会を支えています。社会を支える労働者が団結を学んだ時、その団結を発揮した時こそその力を見せつけるでしょう。政治は変えられます。団結をまなび、実行に移す方法は学習誌『まなぶ』にあります。

(労働大学まなぶ友の会全国連絡会前会長)